

平成30年度事業計画

社会福祉法人 グレイス会
ルミナス たてやま

「基本方針」

平成29年から改正社会福祉法が施行され、社会福祉法人制度の改革がされています。

この制度改革により社会福祉法人においては自主性・自律性を持った運営を求められ、今年度は社会福祉法人は大きく変わらなければならない一年として位置付けられました。

国は、高齢者が住み慣れた地域で尊厳を持って自分らしい生活を送る事が出来るよう、介護・医療・生活支援・介護予防の充実化を図り[地域包括ケアシステム]の構築に向けた取り組みを充実、強化させています。

今、ケアハウスでは、要支援や要介護の入居希望者が多くなっており、ケアハウスのあり方の見直しが必要となり、当施設に於いても入居希望者をみると要介護者の方が多く、現状の施設入居者においてもADL(身体機能)の低下や認知症の方の増加に対し、自立施設としての限られた職員数での対応が厳しい現状であり、今後の大きな課題となると考えられます。しかしながら、入居者の身体機能の維持に少しでも役立てるよう、又、入居者が安心して生活を送れるには、どのようなサービスを提供すべきか、どのようなサービスを望んでおられるかを常に念頭に置き、きめ細やかなサービスの提供を今後も目指していきたいと考えております。

平成30年度介護報酬改定においては高齢者の自立支援と重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図っています。

認知症予防や機能訓練を強化させ、又、心身の健康面、生活面でのサポートにも力を入れていく所存です。

サービス付高齢者住宅の増加に伴いケアハウスの入居率も年々減少している厳しい状況下、一定の入居者の確保に努めたいと考えます。

又、支出面においては、施設設備の経年劣化による修繕箇所が多く見られ、今後修繕関係の費用は膨らみ、経費の施設負担分が大きくなる事が予想され、より一層の経営努力に努めてまいりたいと思っております。

1. 地域に認められ支持される施設づくりを基本に、施設機能の充実、職員のスキルアップに努め、サービスの質的向上を目指す。
2. 入居者へのサービスでは、介護保険利用者の増加に伴う細かな対応と、引き続き健康面、生活面での個別把握を行いながら、病院など協力機関との連携を強め、早期の対応に努めること。また、入居者のレベルに合った身体・心身機能の低下の防止に努めたい。
3. 職員の内部研修、外部研修を実施し、判断力、対応力等レベルアップに努めたい。
4. 経済事情に即した経営に努め、諸経費の合理化の徹底を図る。

「事業計画」

1. 講話・手芸・カラオケ・体操等の開催 ボランティアによる各種演奏会等の開催
2. 各種行事の推進

お花見・日帰り旅行・クリスマス会等々月別行事の実施

3. 職員の内部研修、外部研修等の実施

職場でのOJT、老人福祉施設協議会、富山県ケアハウス連絡協議会等主催の職種別研修の受講

4. 施設設備の整備

経年による各種施設設備の計画的な整備を実施